

特集



令和5年度 森林・林業白書の 公表 ～「花粉と森林」を特集～



6月4日に、「令和5年度森林・林業白書」（令和5年度森林及び林業の動向、令和6年度森林及び林業施策）が閣議決定されましたので、その概要について、構成に沿って紹介します。

国民の皆様理解を深めていただけるよう、特集では一つのテーマを深掘りして記述するとともに、各章で森林・林業・木材産業全体について体系的に記述・分析しています。また、図表、写真、事例等を盛り込み、読みやすい白書となるよう心掛けています。この記事で関心を持った箇所がありましたら本文も是非お読みください。

特集

今回の白書の特集は、花粉発生源対策等をテーマに「花粉と森林」としました。

戦後、社会的要請に応じてスギ等の人工林が拡大した一方で、これらの人工林が成長するにつれてスギ花粉症等が顕在化し、多くの人を悩ませる社会問題となっています。

そこで、特集では、スギ等の人工林が造成されてきた経緯やスギ花粉症等の顕在化と対応の経緯を振り返るとともに、花粉発生源対策の内容や、花粉発生源対策を含め国民の多様なニーズに対応した森林を育むという森林整備の方向性を紹介しています。

1 森林資源の利用と造成の歴史

有史以前には日本列島はスギなどの針葉樹と広葉樹が混交する森林に広く覆われていましたが、その後の長い歴史を通じて、建築用材として優れた特性を持つスギや

ヒノキの伐採が進みました。そのような資源の減少に対応して、植栽による人工林の造成が始まり、特にスギは、成長が早く用途が幅



原生的なスギと広葉樹の天然林(宮城県)



伝統的なスギ林業地(奈良県)

広いことなどから全国各地で造林されるようになりました。

第二次世界大戦後には、大量伐採によって荒廃した国土の緑化、復興期における旺盛な木材需要への対応が社会的要請となり、造林技術が確立していたスギ等の針葉樹の人工林が拡大していきました。

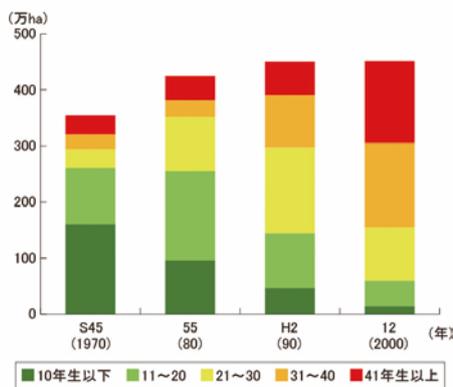
2 スギ等による花粉症の顕在化と対応

昭和36年にスギ花粉症が初めて報告され、その後有病率は徐々に増加し、令和元年には39%に達すると推定されました。

花粉症患者の長期的な増加の背景としては、一度発症すると自然に

治ることが少ないために患者数が蓄積していくことに加え、花粉飛散量の増加や食生活の変化、感染症の減少などが指摘されています。花粉飛散量の増加の要因としては、スギ人工林の成長に伴い、雄花を付ける20年生以上のスギ林の面積が増加していることが考えられます。

スギ人工林の林齢別面積の推移



花粉の少ないスギの例



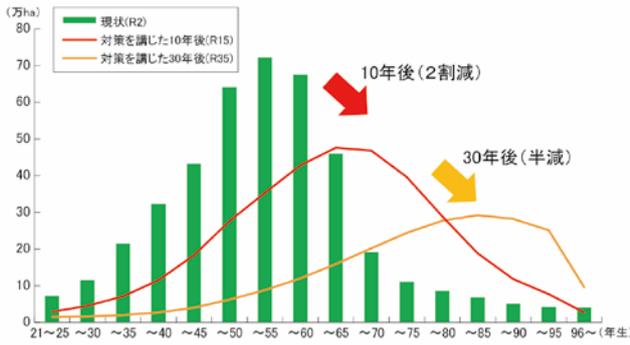
一般的なスギ



少花粉スギ品種(神崎15号)

(写真提供: 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター)

花粉発生源となるスギ人工林の将来像



令和5年度に新たに設置された

3 花粉発生源対策の加速化と課題

花粉症・花粉発生源対策としては、関係省庁により実態把握や治療法開発などの対応策がとられており、林野庁では、花粉の少ないスギの開発、花粉の少ない苗木(注)の増産等に努めてきました。現在ではスギ苗木の生産量の約5割が花粉の少ない苗木となっています。



関係閣僚会議で、10年後には花粉発生源となるスギ人工林を2割減少させるという目標が掲げられました。これによって花粉量の多い年でも過去10年間の平均並みの水準まで減少させる効果が期待できます。さらに、将来的(30年後)には花粉発生源の半減を目指しています。

この実現のためには、森林施業の集約化や路網整備といった条件整備による伐採・植替えの加速化、スギ材の需要拡大、花粉の少

4 人と森林のより調和した関係を目標として

ない苗木の生産拡大、伐採・植替えの増加に対応するための林業の生産性向上と労働力確保等の対策を総合的に推進する必要があります。それぞれの具体的な方策について紹介しています。

「森林・林業基本計画」では、森林の機能を高度かつ持続的に発揮させるため多様で健全な森林に誘導することとしています。特に、

林業に適したところでは資源の循環利用を推進する一方で、林業にとって不利なところでは天然林に近い針葉樹と広葉樹の混交林などに誘導することとしています。このような基本計画の目指す森林づくりの加速化は花粉発生源を減らすことにつながると同時に、花粉発生源対策を強化することが基本計画の目指す姿の実現を進めることにもつ



(注) 花粉の少ない苗木とは、花粉の少ないスギ(少花粉スギ・無花粉スギ・特定母樹等)から得られた苗木です。

ながります。今後は、森林・林業・木材産業において必要な取組を集中的に実施していくとともに、国民の皆様にも木材需要の更なる拡大などにご協力いただくことで、花粉発生源対策を含め国民の多様なニーズに対応した森林を育むことが可能になります。このように、人と森林のより調和した状態を目指して社会全体で森林に関わっていくことが重要となっています。

トピックス

1 国民一人一人が、森を支える。
森林環境税と森林環境税の課税開始と森林環境譲与税の取組状況

森林は、地球温暖化の防止や国土の保全など、様々な機能により私たちの暮らしを支えている一方で、担い手の不足等により手入れが行き届いていない森林の存在が課題となっています。

このような森林の公的な整備が必要となる一方、山村地域等の市町村は厳しい財政状況にあります。そこで、森林の恩恵を受ける国民一人一人が負担を分かち合い森林を支える仕組みとして、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、令和元年度に森林環境税及び森林環境譲与税が創設されました。先行して森林環境譲与税が譲与されており、5年を経て各地で取組が展開されています。令和6年度からは、森林環境譲与税の財源となる森林環境税の課税が開始されます。



森林環境譲与税の取組事例
(森林整備)

2 合法伐採木材等をさらに広げる
クリーンウッド法の改正

クリーンウッド法は、合法性が確認された木材等の流通増大を通じて違法伐採の抑制を目指すもので、国民が木材を安心して利用できる環境が整うことにより木材需要の更なる拡大も期待されます。令和5年4月には、川上・水際の木材関連事業者による合法性確認等の義務付け等を内容とするクリーンウッド法の一部改正法が成立しました。

3 地域一体で取り組む「デジタル林業戦略拠点」がスタート

林業におけるデジタル技術の活用基盤は着実に進展している一方

で、データの活用は個別・断片的な取組にとどまっていることから、林野庁では、令和5年度から、地域が一体となってデジタル技術を活用する「デジタル林業戦略拠点」の創出を開始しました。

4 G7広島サミットにおいて持続可能な森林経営・木材利用に言及

日本が議長を務めた令和5年のG7では、様々な会合において持続可能な森林経営と木材利用について言及され、特に広島サミットでは「持続可能な木材利用の促進」が成果文書として初めて明記されました。我が国としては、国



G7広島サミットでは、国産ヒノキを活用した机と椅子を利用

際社会において持続可能な木材利用の重要性・必要性について引き続き積極的に発信・共有していくこととしています。

5 令和6年能登半島地震による
山地災害等への対応

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、大規模な山腹崩壊等が多数発生しました。林野庁では、国直轄による災害復旧等事業や生業再建に向けた支援等により早期復旧への支援に全力で取り組むとともに、林業・木材産業の復旧・復興を通じた被災地の復興に努めてまいります。



木造応急仮設住宅(長屋型)

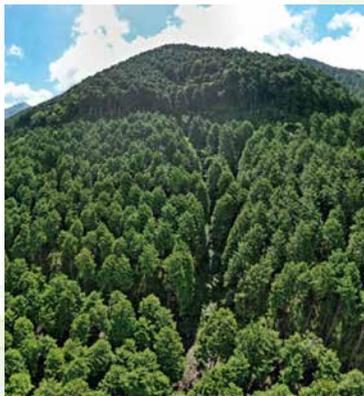
各章

第1章 森林の整備・保全

SDGsや2050年カーボンニュートラル、国土強靱化に貢献する森林の多面的機能や、その発揮に向けた森林の整備・保全の動向、国際的な取組について記述しています。特に、森林経営管理制度の取組やJ-クレジット制度を活用した企業等による森林づく



「森のようちえん」の取組
(写真提供：認定NPO法人森のECHICA)



J-クレジット認証を取得した社有林

第2章 林業と山村(中山間地域)

り活動が拡大しています。

林業や特用林産物、山村(中山間地域)の動向について記述しています。特に、林業経営の効率化に向けた施業の集約化や「新しい林業」への取組、きのこ等の特用林産物の輸出拡大や「森林サービス産業」の創出に向けた取組が進展しています。



ロサンゼルスで乾しいたけの情報を発信



高校におけるスマート林業教育
(アプリによる毎木調査)

第3章 木材需要・利用と木材産業

木材需給、木材利用と木材産業の動向について記述しています。特に、近年は非住宅・中高層建築物の木造化・木質化や消費者への木材利用の普及、木材産業の競争力強化の取組が進展しています。



中高層建築物の木材利用
(写真提供：株式会社シェルター)

第4章 国有林野の管理経営

国有林野において公益重視の管理経営を推進していることや、民



地域産のスギ材による木工体験と木工品販売

有林への技術の普及等により森林・林業施策の推進に貢献していること等を紹介しています。

第5章 東日本大震災からの復興

海岸防災林等の復旧が進展していることや、しいたけ原木林等の再生に向けた取組、安全な特用林産物の供給に向けた体制整備等を紹介しています。

※白書の全文と概要を林野庁ホームページに掲載しています。また、過去の白書を含めて一括でキーワード検索できるサイトを林野庁ホームページ内に開設していますので、ご利用ください。

令和5年度
森林・林業白書
全文・概要



<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r5hakusyo/index.html>

これまでの
森林・林業白書
(一括検索サービス)



<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/old-hakusyo-search/>